

日程	講座タイトル	学習内容	担当講師
4/6	ガイダンス・仲間づくり	①カレッジで受講するための必要な事柄の確認 ②自己紹介	社会教育 コーディネーター
4/20	オリエンテーション ～あかしの地域・自然・防災～	一年間の学習の流れを確認するとともに、 地域・自然・防災をつなげる視点を学ぶ	高田 知紀 兵庫県立大学 准教授
5/11	明石の河川と海岸を守る 取り組み ①	河川保全活動の実践紹介から、活動の背景 や実践から得られた知見について学ぶ	西谷 寛 海と空の約束 プロジェクト代表
5/21 (木)	明石の河川と海岸を守る取り組み② (現地) ～朝霧川における活動体験～	地域における河川保全活動のノウハウにつ いて、実際の活動から学びとる	西谷 寛
6/8	ウミガメが散乱できる海岸に	ウミガメの産卵というテーマを切り口にし て、明石の海岸のこれからを考える	大鹿 達弥 元・須磨海浜水族 園 飼育部長
6/22	兵庫の海の生き物を守るために	私たちの生活と密接な関係にある海産物を 取り巻く環境について理解を深める	樋口 和宏 (県漁連)
7/6 *子午線 ホール	一杯の水でわかる生物分布・環境 DNA調査 ※サイエンス学科との合同授業	水域生態系調査の最先端の手法としての 「環境DNA 調査」について学ぶ	源 利文 神戸大学教授
7/21 (火)	明石の海辺の植物	明石の地域資源としての海辺の植物について、 多様な観点から理解を深める	高野哲司 インターナショナルネット ワーク・ジャパン参与
8/31	兵庫の生きもの ～生きもの研究の今昔～	タンポポの分布を調べる市民参加型調査や 明治～昭和の生きもの研究について学ぶ	鈴木武 兵庫県立人と自然 の博物館
9/17 (木)	身近な草花の見つけ方(秋・現地) ～明石公園における植物観察～	身近な草花の見つけ方について、明石公園 におけるフィールドワークを通して学ぶ	高野哲司
10/5 *PM	明石の大地と播磨灘の生い立ちを 探る※サイエンス学科との合同授業	明石の地形と地質はどうなっているか 播磨平野と播磨灘はどのようにしてできたか 明石海峡はいつできたのか	觜本 格 かがく教育研究所
10/15 (木)	神社と伝承から明石の自然環境を 見つめなおす(現地)	地理・地形、生態系、災害リスクなどの要素を 「神社」と「伝承」という視点から、実際に明石 のまちを歩きながら考える	高田知紀
11/2	地域空間を包括的に捉える視点	フィールドワークをふり返りながら、地域 の空間を包括的に捉える視点を深める	高田知紀
11/16	あかしの自然の『めぐみ』と『リ スク』を共有するマップづくり ①	グループごとにあかしの多様な自然環境を表現・ 共有するためのマップを作成する	課題学習
11/30	あかしの自然の『めぐみ』と『リ スク』を共有するマップづくり ②	明石の自然がもたらす「めぐみ」と「リスク」を テーマにグループごとにマップを作成し、地域の 魅力と課題を再発見する	高田知紀
12/14	あかしの自然の『めぐみ』と『リ スク』を共有するマップづくり ③	グループ毎に自然の「めぐみ」と「リスク」を総 合的に組み込んだマップのテーマを設定し、活用 場面とその効果を考える	高田知紀
1/12 (火)	あかしの自然の『めぐみ』と『リ スク』を共有するマップづくり ④	作成したマップをグループごとに発表する ことで、相互に学びを深め合う	高田知紀
1/25	1年間のふり返りとまとめ ～今後の自分の動きは～	年間の学びをふり返りつつ、修了後の活動 の展望をもつ	高田知紀